

**腹部臓器のがん患者における  
身体機能検査の有用性に関する研究に関する研究**

**1. 研究の対象**

2020年5月～2021年12月、2022年9月～2023年8月に地方独立行政法人 市立秋田総合病院で消化器外科にて腹部のがんに対する手術と手術前後のリハビリテーションを受けた方

**2. 研究目的・方法**

本研究では、お腹の臓器（胃腸や肝臓、すい臓、胆管など）のがんで、市立秋田総合病院の消化器外科を受診し、手術と手術前後のリハビリテーションを受けた患者さんを対象に、握力や歩く速さ、椅子から立ち上がる力（身体機能）の検査の有用性を検討します。

具体的には、手術前後に握力や歩く速さ、椅子から立ち上がる力の検査、生活の質や日常生活の自立のレベルなどの検査を行い、手術前後で身体機能がどの程度変化すれば、患者さんにとって意味のある変化と考えることができるのかを検証します。

これによって、お腹の臓器のがんで手術を受けた患者さんに対する手術前後のリハビリテーションの効果を判定することが可能となり、よりお一人お一人に合った手術後の生活指導（運動や栄養など）を行うことができるようになると期待されます。

なお、本研究における情報の取得は既に市立秋田総合病院にて完了しており、これから新たに市立秋田総合病院および本学でデータを取得する予定はありません。

研究実施期間：研究実施許可日～2029年12月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026年1月26日

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

情報：基本情報（年齢、性別、身長、体重など）、身体機能検査の結果、  
アンケート調査の結果、手術に関する情報（部位、時間など）等

試料：なし

**4. 外部への試料・情報の提供**

市立秋田総合病院より秋田大学大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座へ、氏名、生年月日など個人を特定できる項目を削除した情報を、パスワードを設定した電子ファイルを電子メールにて送付されます。

## 5. 研究組織

共同研究機関

地方独立行政法人 市立秋田総合病院 川越 厚良

秋田大学大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座 岩倉 正浩

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

地方独立行政法人 市立秋田総合病院 リハビリテーション科 川越 厚良

住所：〒010-0933 秋田市川元松丘町 4-30

電話：0570-01-4171

研究責任者：

秋田大学大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座 岩倉 正浩

研究代表者：

地方独立行政法人 市立秋田総合病院 リハビリテーション科 川越 厚良

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽瀧 友則